

資料三九號
康德三年九月

地籍整理事業ニ關スル口演集

地籍整理局

康德三年四月十三日ヨリ同十五日ニ至ル三日間ニ涉リ開催セラレタル
七地主務者會議ノ席上ニ於テ議事以外ニ參考トシテ爲サレタル口演ノ
要旨ヲ蒐録セルモノナリ

地籍整理事業ニ關スル口演集 目次

- 一、臺灣、朝鮮ニ於ケル土地調査ノ回顧 河内囑託
- 二、河内囑託ノ口演ニ對スル地籍整理局ノ用意 加藤處長
- 三、各植民地ニ於ケル土地制度所見 板倉囑託
- 四、南洋廳ニ於ケル土地調査 富永技士

一、臺灣、朝鮮ニ於ケル土地調査ノ回顧 河内囑託

本日ノ會議ハ意外ニ進捗シ時間ニ相當ノ餘裕生シタルヲ以テ地籍整理事業ニ關シ口演セヨトノ事ナルモ咄差ノ事ニテ如何ナル事ニ付口演スヘキカ迷フ次第ナルモ簡單ニ地籍整理事業ニ關シ座談的ニ致スヘシ地籍整理事業ハ頗ル重大ナル事業ニテ誰シモカ考フル如ク決シテ簡單ナル事業ニ非ス滿洲國ハ既ニ三年前ヨリ關係資料ノ蒐集ヲ爲シ居ル如キモ夫ハ研究上ノ材料ニテ作業上ノ材料ニ非ス然ルニ昨年ヨリ當局ノ立案審議中ナルモノハ多ク未決ニテ僅ニ土地審定法ト官制ノミ先月未公布施行ヲ見タル次第ニテ然モ早々著手セントス然ルニ著手ニハ種々ノ法規、各作業別ノ心得等必要ニシテ施行規則ハ未タ制定サレヌ又作業ニ直接必要ナル諸法規ノ制定ヲ要スルモ斯ル現状ニ於テ實行ニ移ラントスルハ難キヲ従業員ニ求ムルモノナリ迅速ニ制定ノ要アルモ著手迄ニ可能ナリヤ否、人ノ能力ニハ限度アリ、車モ軌道ナクシテハ走ル事ヲ得ス極メテ危險ト言ハサル可ラス茲ニ於テ二、三從事員又ハ監督

員トシ考フ可キ事注意スヘキ事項ニ付臺灣、朝鮮ニ於ケル過去ノ成果ヲ參考迄ニ述フヘシ

注意スヘキ事項ニ付テハ變ニ調査科長ヨリ説明アリタル次第ナルモ第一事業趣旨ノ普及徹底ハ仲々ノ難事ナリ趣旨普及徹底ノ必要ナルハ從來ノ歴史ニ鑑ミ明ニシテ若シ徹底ヲ缺カハ誤解ヲ招キ人民ノ反對ヲ惹起スルノ虞アリ例ヘハ支那ニ於テモ臺灣、朝鮮ニ於テモ屢アリタル事ナリ臺灣ノ如キハ幾度カ清丈ヲ企圖シタルモ有力者ノ反對ニ遭ヒ不能ナリキ後年劉銘傳ナル偉人ニ依リ無理ニモ行ハレタル事アリ朝鮮ニ於テモ百何十年前ヨリ整理ノ必要ヲ認メ丈地衙門ヲ設置シタル事アルモ其ノ都度反對ニ遭ヒタリ其ノ理由ハ第一、七地所有者ハ増税ナリト思惟シ此ノ上ノ増税ハ困難トセルニ因ル第二ハ七地制度ニ就テハ整然タル法規アリ寧ロ日本ニ比較シ完全ナルモノアリシモ取扱官吏ノ腐敗ニ依リ法規ハ完備シ居ルモ實行不能ニ終リ其ノ結果所有權ハ曖昧トナリ遂ニ人心ノ不安ヲ來セリ所有者テアリ乍ラ地稅ヲ負擔セス假令負擔

スルモ實際トノ一致ヲ缺キ七地制度ノ紊亂ヲ來セリ此ノ二ツノ理由ニ依リ反對サルルヲ常トシ十回二十回ノ計畫モ畫餅ニ歸シタリ斯ル事情ノ伴フ事業ナレハ若シ増税カ目的トセハ税率ノ引上ケヲ以テ足り何等巨額ナル經費ヲ消シテ迄事業施行ノ必要ナク要スルニ目的ハ他ニアル事ヲ十分了解セシムル必要アリ然ラサレハ百姓一揆等ヲ起シ易シ支那ニ於テモ會テ廣東省ニ於テ大動亂ヲ起シタル事アリ福建亦然リ朝鮮亦此ノ例ニ洩レス滿洲國ニ於テモ斯ル事態ノ發生セサル事ヲ懸念スルモノナリ

然シテ此ノ事業ノ施行ニ就テハ地籍整理局ニ於テ凡テヲ專行スルニ非ス地方機關ニ於テ實行スルトセハ單ニ簡單ニ調査測量ノミノ事業ト思ハルル向モアルヘキモ決シテ左様ナモノニ非ス仲々面倒ナル仕事ナリ之ヲ如何ニ慎重ニ行フニセヨ人ノ能力ニ限アリ種々ノ問題ヲ然モ從業員ヲ養成シツツ行フモノナレハ一層ノ心配アリ次ハ事業計畫ナルカ從前ノ例ニ依ルモ調査測量ハ最初ノ半年位ハ一日五、六筆程度ノ功程ニ

シテ十二、三筆ニ達スルニハ一年ヲ要ス最モ熟練ノ時期ニ於テモ尙二十筆ヲ出テス依テ縣支局ニテ行フトセハ如何程ノ功程ヲ以テ進ミ得ルヤ然モコノ計畫ハ三十年乃至五十年ヲ要スヘク果シテ此ノ功程ヲ收メ得ルヤ否甚タ疑問トスル所ナリ

計畫ハ極メテ慎重ヲ要スルモノニシテ其ノ粗ナルニ於テハ後日ニ大ナル悔ヲ貽スコトハ臺灣ニ於ケル例ヲ以テシテモ明ナリ臺灣ニ於テハ餘リニ功程ヲ急キタル爲事業ハ表面上完成シタリト稱セラレタルモ其ノ後登記其ノ他ノ取扱ノ結果調査測量ノ悞謬百出シ當局ハ其ノ處置ニ窮シ此ノ事業ニ終始一貫勤務シタル當時ノ野呂瀾量科長（日本ニ於ケル測量ノ權威者ノ一人ナリシカ）ハ當ノ責任者ニシテ三分ノ一ハ改測ヲ要スト認メ極秘裏ニ整理セムトシタルモ遂ニ成ラス悶死シタル事實サヘアリタリ斯ノ如ク臺灣ニ於テハ失敗ヲ見タリ朝鮮ニ於テハ臺灣ノ經驗者數十人ヲ招聘シ從事セシメ極メテ平和ヲ進行ヲ見タルモ然モ紛争問題等十萬件ニ達シタリ初メ申告書ヲ提出セシメ之ニ依リ調査ヲ行フ

モノナルモ人間ノ能力ニハ限アリ申告ハ正當ナルニ拘ハラズ調査員ノ不注意ノ爲誤調ヲ爲シ高等七地審査委員會ニ對シ不服ノ申立ヲ爲シタルモノ十萬件ニ達シタリ不注意ノ程度モ甚シト思フ次第ナリ

申告ヨリ七地臺帳調製迄十人以上ノ人ニ依リ検査セラルルニ尙誤アリ誤アルモノハ早期ニ申立ツレハ救済セラルルモ法律ノ規定ニ依レハ申立期間經過後ハ最早回復ノ途ナク之ヲ民事裁判ニ提起スルコトモ能ハス如何トモ爲シ難キ結果ヲ生スルモノニシテ此ノ重大ナル專業ノ遂行ニ當リ此ノ忽々ノ場合實行ニ移シ果シテ一筆タリトモ誤ナキヲ期シ得ルヤ甚タ困難トスル所ナリ

特ニ指導ノ責ヲ負フ各位ニ於カレテハ慎重考慮ノ要アリト思惟スルモノナリ

尙地稅ノ問題ニ付テハ單ニ增收セントセハ率ノ引上ケヲ以テ足り從テ本事業ノ目的ハ他ニアルモノナルモ之ハ仲々人民ノ頭ニ入り難シ假令本局ヨリ各地方ニ出張シテ講話ヲ行フトスルモ實際問題トシテハ至難

ナ問題ナリ

又地主總代ノ選定ニ付テモ種々ナル問題ヲ生シ例ヘハ地主總代ハ村長屯長等ヲ見込ミ七地ニ關スル物議リト思ヒ居ルカ實際村長、名望家等ハ七地ノ事情等ニ精通セス寧ロブローカト視シテ人民ハ信賴セス之等ノ爲種々ノ問題ヲ惹起スル虞アリ單ニ地主總代ノ選定ニ付テモ然リ七地ノ權利ハ如何ニシテ決セラルルカ決シテ増稅ノ目的ニ非サルコトヲ知悉セシムル必要アリ

此ノ地籍整理事業ハ日本内地ニ於テハ行ハレタル事ナク明治十七、八年頃行ハレタル七地ノ調査ハ官ニ於テ行ヒタルモノニ非ス地主各自勿調査シタルモノニシテ之ヲ官カ認メタルニ過キス今日ノ如ク進歩シタル方法ニ照セハ誠ニ幼稚ナル感アリ

日本ニ於テハ第一ニ沖繩縣ニ於テ行ハレタルカ之トテモ粗ナル方法ニシテ次ハ臺灣ナリキ臺灣ハ增稅ノ目的ニモ非ス權利ノ確認ニモ非ラス臺灣ハ支那中央ノ七地制度ト同様ニテ日本人ノ考フル所有權トハ別個

ナルモノアリ之ヲ大租權ト稱シ所有權以外ノモノニテ所有權トハ別々ニ賣買讓渡セラレ來リタルモノナリ然ルニ兒玉總督、後藤長官ノ時代一地ニ斯ル二様ノ權利アルハ統制上面白カラストナシ整理セントシタルモ民間ニ反對起リ遂ニハ日本議會ノ問題トモナレリ臺灣ニ於テハ此ノ大租權ノ整理カ土地調査事業ノ目的ニテ其ノ序ヲ以テ一筆地ノ調査ヲ行ヘリ

調査ノ結果ニ對シ財政當局ハ之ニ課稅シタルカ頭初五十萬ナリシヲ調査終了後ハ殆ント倍額ニ達セリ朝鮮ニ於ケル土地調査亦同様ニテ日韓併合後日賀田男財政顧問トナリ國庫收入ノ基礎ヲ確立スルハ地稅ノ整理ニアリト爲シ土地權利ノ確定、土地金融ノ圓滑ヲ計ルヲ目的トシ前後七ケ年ノ長期ニ亘リ完成セリ

滿洲ニ於テハ事業其ノモノ必要ハ勿論ナルモ爲政者トシテ緊急ナルハ日滿民族ノ結合ナリ如何ニ融和ヲ叫フトモ中央ニ於テ只官吏間ノミニ融和ハ計リ得ルトスルモ眞ニ民族間ノ融和ヲ計ルノ機會ナシ言フ可ク

シテ難事ナリ

然ルニ土地調査事業ハ山間僻地ニ迄及ヒ一筆ト雖モ洩ルルコトナク滿洲全域ニ従事員カ入地シ田舎ニ半年一年人民ト共ニ住居ヲ同シクシ日夜接觸スルヲ以テ最初ハ宿舍サヘ提供ヲ快トセサルモ人情風俗ヲ語ルニ從ヒ次第ニ慣レ合ヒヨク日本人ヲ理解シ從來ノ誤レル考ヲ一掃シ大ニ融和サレ離別ノ際ハ泣別レル等ノ情況隨所ニ見ラレ民族融和上最モヨキ機會ナリキ此ノ事業ハ施政大成ノ機會テアリ地方ニ出張スル從業員ハ勿論監督者モ其ノ點ヲ考慮シ此ノ民族融和ニ關心ヲ持チ誘導スルノ心懸ヲ肝要トス

尙事業ノ重大性ハ一旦決定セハ訂正スルコトヲ得サルモノナルモ實際取扱者ニハ餘リ強ク感セサルヲ普通トスルモノニテ此ノ點ヨク了承シ審定法ハ官民、裁判官ト雖モ之ニ服セサルヲ得ヌ殊ニ從業員ニハ親切丁寧ヲ旨トセシムル必要アリ審定法ノ效果ハ登記ハ勿論一定期間司法裁判サヘ停止セシムルモノニテ此ノ上ナキ權威アルモノナリ又審定カ

確定セハ之ニ對シ司法裁判ニ於テモ矛盾シタ判決ハ下スコトヲ得ス然シ矛盾シタ判決ノアリタルトキハ兩者對立シテ各效果ヲ持ツ然ルニ行政司法ハ各系統ヲ異ニスルヲ以テ何レヲ可トスルヤ之カ調整ヲ如何ニスルカ人民ハ何レニ適從スルヤ官吏サヘ向フ所ヲ知ラサルノ難問題ヲ生ス依テ地籍整理局ト司法當局トハ十分ナル連絡ヲ保ツ必要アルモ如何ニ~~之ニ注意~~注意ヲナスモ司法當局ニテ迂濶ニ判決シタルモノハ朝鮮、關東州ニモアリタリ

故ニ從業員、監督者ハ一筆ト雖モ不注意ハ禁物トスル所ナリ況ンヤ紛争地ノ如キハ永年争ヒ來リ爲ニ他ノ行政上ノ妨碍トナリ居ルモノモ多ク斯ル問題ノ處置ハ本局ニ於テ取扱フヲ可トスルト雖モ或程度迄ハ實地調査員ニ於テ調査スルヲ要スルモ頭ノ無キ從業員ニハヨク取扱上ノ態度等ニツキ注意カ肝腎ナリ

又等級調査ニ付テモ何程ノ材料ヲ以テ決定スヘキカ之亦面倒ナル問題ナリ收穫量、品質等地方ニヨリ異リ交通關係、產物取引ノ繁閑、金利

等ノ調査ヲ必要トシ省、縣、領事館、登記官署等ノ例ヲ參考トシ妥當ニスル等亦仲々面倒ナリ此ノ仕事ハ面倒ニテ如何ニ注意スルモ尙誤リ易キヲ以テ十分ノ注意ヲ必要トス

土地調査事業ハ本來ノ目的以外ニ尙各官廳ノ事務ニモ關係アリ例ヘハ一筆地調査ハ先ツ所在ノ確定ヲ必要トナスモ滿洲ノ部落ハ山東流民ニ依リテ開拓サレ山、谷隨意ニ開墾サレ來リタルヲ以テ下級行政區劃タル村屯ノ境界ハ判然セス故ニ土地ノ所在ハ先ツ最初ニ於テ決定スルヲ要ス又地方行政上ノ見地ヨリ考フルモ亦早急ニ行政區劃ノ決定ヲ必要トナスモノナリ而シテ之ハ民政部ニ於テ省、縣ニ命シテ行ハシムル要アルヘキモ單獨ニ行フハ大事業ナルヲ以テ土地調査事業ノ施行ヲ幸トシ此ノ機會ニ於テ協力決定スルノ要アリ朝鮮ニ於テハ部落廢合整理ノ結果従前ノ三分ノ一トナレリ關ク所ニ依レハ瀋陽縣ニテモ三百幾村ヲ既ニ百幾村カニ整理シタル由ナルモ此ノ機會ニ於テ従前不統制ナル下級行政區劃ヲ適當ニ分合廢置スルハ最モ好時期ニシテ是非行ハサル可

ラス之ニ依リ民政部ニ於テハ區劃決定ノ外紛爭問題ノ解決等利スル所少ナカラス

又財政部方面ニ就キ考フルモ土地調査事業ハ歴史ニ屢表ハレタル失敗ノ例ニ鑑ミルモ増稅ノ目的タル事ハ寸毫ト雖モ表明シ難キ所ナルモ實續ヨリ見ルトキハ臺灣、朝鮮ハ五割増ノ結果トナリ自然增收ノ形トナリタルカ之ニ對シ人民ヨリハ何等不平ヲ聞カサリキ其ノ理由トスル所ハ従前權利關係不明ノ爲民心不安ナリシモ調査ノ結果權利關係ノ確定ヲ見タルヲ以テ百姓ノ歡喜スルハ當然ナリト思惟ス又滿洲ニ於テハ實際ニ町步アル土地ニ對シ地券上ハ例ヘハ三町步等トナリ居ルモ之ヲ十町步トシテ認メラルルニ於テハ假令負擔ノ増加ヲ見ルモ快ク納付スルモノト思料ス滿洲ニ於ケル土地制度ハ臺灣、朝鮮ニ比較シ寧ろ粗ナルヘキモ官ヨリ云ヘハ當然取ルヘキモノヲ取ル民カラ云ヘハ權利ヲ認メラレ然モ永久ニ確保セララルルヲ以テ人民ハ其ノ負擔ヲ當然ト思料スヘク地方官憲ハ此ノ點十分説明ノ要アリ

斯ル事情ナルヲ以テ人民ノ幸福トナルハ明ニシテ又例ヘハ典賣等ニ關シ金融セントスルモ權利關係不確實ナルニ於テハ資本家ノ投資亦迷ハサルヲ得ス銀行等ニ於テ擔保トセンニモ眞ノ所有權ニ非ス吃租權等ノ權利ナリトセハ債權ノ實行ニ當リ直ニ損失ヲ招ク結果トナル聞ク所ニ依レハ奉天ノ或ル銀行ニ於テ土地ヲ擔保トシ十六萬圓ノ金融ヲ爲シタルニ該土地ノ權利關係ノ不確實ヨリ遂ニ一萬圓ニテ處分シタリトノ事ヲ耳ニセリ現ニ中央銀行ニ於テモ相當苦心ヲナシ居ル模様ニテ自ラ土地關係ノ調査ヲ行ヒ居ルカ尙貸借ノ圓滑ヲ期スルニ至ラサルトノ事ナリ

土地調査ノ終了ニ至ラハ貸借何レモ便利トナリ金融ハ濶澤トナリ産業開發ハ當然ノ結果トナル例ヘハ日本人カ土地ノ經營ヲ爲サントスルモ何レモ躊躇シ居ルノ狀況ナルモ終了後ハ百里、十里等隔リタル地方ニ迄入りテ調査セストモ居ナカラニシテ土地ノ權利關係、地貌等ハ臺帳圖面ニ依リテ一目瞭然タルコトヲ得ルモノナリ又本事業ノ遂行ニ依リ

局員ハ全國何レノ地方ニモ入地シ直接人民ト接觸シテ生活スルヲ以テ地方民ヲ潤スコト亦少カラス即チ土地調査經費ノ八、九割迄ハ局員ノ俸給旅費ナルヲ以テ悉ク鉅額ニ達スヘキモ其ノ約五割ハ地方ニ撤布セララルモノナリ而シテ俸給ハ各人ノボケツトニ入ルモノトスルモ旅費ハ各部落ニ分散セララル外人夫賃等モ地方ニ入り自然民族融和ヲ致スヘク其ノ結果ハ誠ニ重大ナル意義ヲ生ス現ニ滿洲ニ於テハ到ル處匪賊ノ出沒アリ之等匪賊ノ中ニハ首謀者ニ附和雷同スル者亦少カラサルヘキモ斯ル事情ヲ知ラハ其ノ使喚ニ應サルニ至ルヘシ斯ル例トシテ會テ臺灣ニ於テハ明治三十一年頃ハ土匪ノ猖獗盛ニテ内地人ノ旅行ハ極メテ危險ト爲サレ居タルモ土地調査ノ完了ト共ニ斯ル危險ハ一掃セラレ外業員ノ入地シタル所ニハ土匪ノ勃發一件モナカリシト云フ事實アリ當時日本守備隊ノ入りタル所ニハ土匪ノ出沒ヲ見タルカ土地調査員ノ入りタル所ニハ斯ル事ナシト迄云ハレタルモノナリ又朝鮮ニ於テモ當時日韓併合ニ依リ表面ハ融和ヲ裝ヒ居タルモ内面ハ依然煽動分子ノ

斷ユルコトナク鮮人ハ盛ニ間島省方面ニ移住シタリ當時寺内總督ハ之ヲ禁止シタルモ當年三十萬ノ移住者ヲ見タリト云フ然ルニ土地調査著手間モナク此ノ情勢カナクナリタルモノナリ
惟フニ滿洲モ之等ト全ク同様ナル狀態時期ナルカ土地調査從業員ノ心得一ツニテ斯ク情勢ノ變化ヲ致シ效果大ナルモノアリ土地調査事業ニハ斯ル反面モアルナリ
從業員ハ勿論監督者モ此ノ點ニ留意シ又本日參集セラレタル各方面ニ於テモ亦此ノ間ノ關係ニ考慮ヲ拂ハレタク希望ス
以上本事業ノ遂行ニ何等カ參考トナラハ幸甚トスル所ナリ

二、河内囑託ノ口演ニ對スル地籍整理局ノ用意 加藤處長

只今河内囑託ヨリ臺灣、朝鮮ノ土地調査ニ當リテノ體驗ニ付テハ既ニ舊土地局員ハ屢承リタル所ニ大ニ感スル處アリタルカ之ニ付テハ既ニ舊土地局員ハ屢承リタル所ニテ此ノ臺灣朝鮮ノ失敗ヲ如何ニシテモ再ヒ見サル様ニト苦心シ居ル次第ニテ本日才聽キノ各位ニ於テモ定メシ大變ナリト思ハルヘク誠ニ尤ナル心配ニテ私モ臺灣朝鮮ノ如キ失敗ヲ繰返スコトナク一筆ノ審定ト雖モ誤ナキ様ニト日夜憂慮シ居ル次第ニテ各位ニ於テモ御心配ハ無理カラシム事ト思惟ス

然シ我々ハ敢然トシテ第一歩ヲ踏ミ出サントスルニ當リテハ相當ノ苦心ト自信トヲ持ツモノナリ例ヘハ其ノ用意トシテ第一ハ分支局ニ配屬セントスル職員ニ對シテハ本會議終了後約三週間更ニ教育ヲ行フツモリナリ第二ハ總代、補助員等ニハ實施前約二ヶ月間ニ互リ準備教育ヲ行ヒ第三ハ本事業ニ付テハ從事員ニ事前教育ハ行フモ一ニ記憶困難ナ

ルモノアルニ付業務指針ヲ作りテ配付シ日日執務ノ便ニ供セントスル考ニテ準備中ナリ第四ハ土地權利審定方法ナルカ滿洲ノ特殊事情ニ即セシムル爲臺灣朝鮮ノ如キ轍ヲ踏マサル様特別ノ方法ヲ工夫シ居レリ明日事業處長ヨリ説明スル所アルヘク第五ハ權利審定ノ誤ヲ見出サシムル爲特ニ地方土地委員會ヲ設ケ第六ハ土地審定法第十二條ニ依ル所謂再度ノ考案ナル制度ヲ設ケタル事ニシテ審決ニ對シ不服ノ申立アラハ上級審ニハ送ラス更ニ自己反省ヲナシ理由アリトセハ更ニ審決ヲナスコトトセリ但シ之アルカ爲ニ調査ヲ粗ニスレハ許サレサル所ナルモ人ノ能力ノ缺陷ハ之ニ依リテ補フコトヲ得ル次第ナリ之ハ形式的ノ用意ニシテ之ヲ活用スルニハ精神的用意亦肝腎ナリ即チ親切、根氣、熱心ヲモツトト爲シ居ルモノナリ之アラハ以上ノ形式的用意ハ充足セラルルモノト信ス從テ従業員ニモ此ノ精神的用意ヲ必要トシ養成所ヲ設ケ六ヶ月間ノ教育ヲ行ヒ精神的用意ノ涵養ニ努メ居ル次第ナリ要スルニ河内囑託ノ懸念ハ尤キナル所ニシテ我々トシテモ非常ナル快心ヲ

持チ居ルモノナレハ分支局ノ指導的地位ニアル各位ニ於テモ右ノ趣旨ヲ酌量シ最モヨキ施設ニツキ考慮セラレタシ

三、各植民地ニ於ケル土地制度所見

板倉眞五

私ノ土地制度ニ關スル勉強ハ終始副業的ナ道樂的ナ夜業テアツテ本業ノ皆様ノ前テ苟モ云々シ得ル筈ハナイノテアリマス而モ滿洲ノ土地制度ニ就テナレハ少シハ話シタイ種ハアリマスカ何ノ豫告モナシニ突然此ノ様ナ題ヲ與ヘラレマシタノテハ唯面食フ計リテス二箇年間諸外國ヲ廻テ來タノテハアリマスカ矢張り本職ハ別テアリマシテ各地土地制度ノ勉強ハ暇々ノ道樂タツタノテスカラ其ノ點充分ニ御諒承ヲ御願ヒシマス

昨日來御話ノ通地籍整理ノ大體ノ内容ハ測量權利關係ノ審査確定並其ノ公證ノ三トシマスト植民地中最主要ナ亞米利加、加奈、濠洲ノ如キハ先人未踏ノ原野ヘノ移植民タツタ當然ノ結果トシテ測量ト謂フモ恰モ民國十七、八年頃長嶺縣ノ奧テ乾安縣ノ蒙地開放ヲヤツタトキノ例ノ様ニ所謂「レクタングラ」・「プリンシブル」ト稱シテ基盤ノ目ノ如キ矩形ニ實測シタト謂フ位ノ外ニ錯雜シタ測量ノ問題ハナク固ヨリ

從來ノ權利關係ノ審査確定ト謂ツタ問題モナク其ノ點既ニ相當ノ文化ヲ有シ其ノ權益ヲ充分ニ尊重スヘキ滿洲トハ事情全く異ルノテアリマス次ニ公證ノ方面トナリマスト其ノ方ハ殆ト例外ナク彼ノ「トレンス・システム」ヲ採用シテ居リマシテ之亦御話スヘキコトモナイノデアリマス

尤モ印度及カリビアン諸島ノ面白カルヘキハ豫想シナカラ私ハ其ノ地方ヘハ行ケナカッタノテアリマスシ南亞聯邦ハ排日的ナ爲ニ何モ見ルコトカ出來ナカッタノテアリマス外テハ亞爾然丁、ブラジルハ舊來ノ貴族的大土地所有ニ驚イタ外ニハ大シタ施設及制度モナクジャバ。スマトラニハ社會經濟史及法制史上ノ興味ヲ感シタ外ニハ水利以外ニ新シイモノノ御話スヘキハ少ク土地整理上最參考トナルハフイリツピンテアルト存シマスカ夫レトテ舊スベイン時代ニ益亂脈トナツタ土地制度整理ノ問題ハアリマシタカ「トレンス・システム」ヲ強行シテ以前ノスペイン地券ハ一應ノ證據トシテ以外ハ無効トセル外ニ「キヤダス

タル。アクト」ニ依リ地籍整理ノ緊急ナル土地ニ付テハ政府カ原告トナルヲ許シタ等ノコトハアツテモ滿洲國ニハ大シタ御參考トナルヘクモナイト存シマス

斯ノ如ク考ヘ來マスレハ地籍整理ニ關シテ大ナル參考トナルヘキコトハナイノテアリマシテ各植民地土地制度ニ於テ茲ニ興味アルハ如何ニシテ土地ニ人ヲ植付ケルカノ「ランド。セツトルダント」ノ問題タト存シマス私カ歸ツテカラ此ノ半年ノ間ニ痛感シタコトハ滿洲國ノ土地關係者ハ餘リニモ土地法制ニ付テ其ノ歴史の沿革的ナモノニ眩惑サレテ居ラルルノテハナイカ？トノ心配テアリマスカ故ニ却テ此ノ様ナ純政策的ナ話モ無意味テハナイト思ハレマス

亞米利加ニ於ケル「ランド。セツトルダント」ノ方策トシテハ滿洲ノ搶奪ニ似タ「ブレエムツシモン。アクト」ニ依ル制度即チ二一歳以上者ニシテ其ノ地ニ居住シ之ヲ一部開墾セルモノニシテ三二〇エーカー以上ノ土地ヲ所有シ居ラサルモノニハ一エーカー一弗二五仙乃至二弗五

○仙（約四十年前ノ價段）ニテ一六〇エーカー以下ノ土地ヲ極メテ安ク拂下クル制度竝「ホームステツド。ロー」ニ依ル制度即チ「レクダングラー。プリンシブル」ニ依リ區劃セル土地ヲ家長又ハ二一歳以上ノ者ニ一六〇エーカーヲ限り登録料以外無料ニテ支給シ三箇年居住ヲ確メテ後其ノ完全所有權者トスル制度ノ二ヲ大宗トスルノテアツテ外ニ砂漠地ニ限リ六四〇エーカー迄ヲ支給セル「ホームステツド」ノ例外ヲ設ケタル「デザート。ランド。アクト」又ハ其ノ水利ヲ洲ニテ實施シ之ヲ割掛買收セシメタル「カレ」。アクト」又ハ洲ニテ設定セル既成農場ヲ安ク年賦拂下タル制度等ナキニ非サルモ何レモ前述ニ大宗ノバライエテイニ止ルト見ルヘキテアリマセウ

加奈陀ニ於テハ先ツ「ホームステツド。システム」ヲ主トシテ外ニ植民會社等ヲ試ミタコトモアルカ財政的破綻等ノ爲何レモ大ナル效果ハナク最效果のタツタノハ「カナデアン。パシファイツク鐵道」ノ植民並土地政策テアツタカ其ノ方法ハ大略年賦ニ依ル農地ノ安價賣却テアツテ

例へハ其ノ三十五年制テハ最初ニ七分ヲ現金支拂シタル後二年ハ据置
 無利子トシ爾後三三回年賦トシタノテアリマス其ノ外近ク農業労働者
 フ世話スル「フアームレーバー」・「ピューロー」ヲ設クル等大イニ成績
 ヲ上ケテ居ルノテアリマス
 濠洲ハ「ランド・セツトルメント」ニ付テ最重要ナル歴史ヲ有スル植
 民地テアリマシテ諸植民地ハ多ク之ニ習ツテ居ルト謂フ位テアリマス
 惟フニ濠洲ハ其ノ初メカラ丁度現在ノ滿洲國ノ如キ統制經濟ヲ實施セ
 ル國テアリマシテ殊ニ其ノウタトリヤ洲ノ如キハ滿洲國同様特殊會社
 ニ依ル統制經濟ヲ實施スルコト既ニ數十年正ニ其ノ成否ハ滿洲國ノ實
 驗室トシテ特ニ見ルヘキ價值充分ナノテアリマス此ノ様ナ統制經濟
 ノ一ノ現レトシテ矢張り「ランド・セツトルメント」ノ問題モ種々考
 慮サレタモノト思ハレマス初メ自由ニ土地ヲ分配シテ居タノヲ改メタ
 ノカ彼ノ有名「ウエイクワイールド」テアリマス即チ一九三〇年頃彼
 ニ依リ植民地ニ於ケル土地ト人力トノ調和ヲ計ル爲ニハ土地ハ適當ノ

價格テ拂下ケルヘキモノニシテ其ノ收入ヲ基金トシ移民ヲ行ヘハ自動
 的ニ其ノ調節ヲ得ルモノト主張セラレタルニ初リ今ニシテ思ヘハ何テ
 モナイ話テスカ強ク最近迄力ノアツタ考ヘ方テアリマス然シ濠洲ノ土
 地問題カ重要ナ考慮ヲ拂ハレルニ至ツタノハ一八三〇年カラ五五年頃
 迄ニ牧羊大イニ盛トナリ爲ニ牧畜者カ廣大ナ土地ヲ占據セル所謂「ス
 クラツタ」ノ整理トシテテアリマス種々ノ「ランド・セツトルメント」ニ
 ト「ノ方法カ行ハレタノテハアリマスカ要スルニ「スクラツタ」ニ
 ハ其ノ占據セル土地ノ内「ホームステッド」ニ當ル地域位ノミヲ優先
 買收スル外ハ其ノ隣接地ノ三倍ノ地域迄ハ五箇年間ノ租借ヲ許スニ止
 メ其ノ他ノ地域ニハ「ホームステッド」ニ準シ三箇年ノ居
 住ト一部開墾トヲ要件トシ安イ値段テ容易ナ支拂方法テ一般希望者ノ
 拂下ヲ許シタノテアリマシテ此ノ一八六〇年來ノ濠洲農業改革ニ依リ
 其ノ沃野ノ大部分ハ耕サレタノタト謂ハレテ居リマス其ノ外未開墾ノ
 儘所有サレタル土地ニ「ベナル」・「ダツクス」ヲ行フトカ例ノ有名ナ「

トレンヌ。システム」ヲ生ムトカ多クノ興味アル問題カアルノテハアリマスカ茲ニ特ニ皆様ノ御参考ニモト思ヒ付イタモノハ數次行ハレタ「ヨオバレチーブ。セツトルダント」ノ例テアリマス三十人以上位ノ部落ヲ作ツテ共產的ニ移民シタノテアリマシテ近クハ工業不振ニ依ル失業者救済ノ爲ニモ行ハレタノテアリマスカ何レモ其ノ人間性ニ適合シナカツタ爲カ失敗シテ居ルノテアリマス米國、加奈院ニ付テ述ヘマシタ様ニ其ノ後ハ既拂下地中充分利用サレサル土地ヲ再ヒ買收シテ之ニ水利其ノ他ノ加工ヲ加ヘ一割ノ加工費ヲ附加セル價格テ小農場ニ分割年賦拂下ヲスル等ノ種々ノ方策ハ行ハレテ居ルノテアリマスカ何レモ要ハ最初ニ述ヘマシタ「ブレエムプシヨシ」又ハ「ホームズツド」ノ「バライユイ」ト見ルヘキモノノミテアリマシテ之ハ滿洲ニ於テモ同様ナ諸制度カ或ハ招懸トシテ種々行ハレテ居タコトハ皆様充分御承知ノコトデアリマセウ

要スルニ各植民地ニ於ケル土地制度トシテ參考トモナルヘキ新規ナル

モノトシテハ其ノ大資本ヲ要スルカ爲ニ鐵道ニ委託シテ「セツトルダント」ヲ實施セル一單位テアリマシテ此ノ點ハ又滿洲ニ付或ハ習フヘキモノト思フノテアリマスカ丁度命セラレタタケノ時間ヲ喋リマシタノテスカラ之テ失禮致シマス

南洋群島土地調査事業ニ就キテハ御承知ナキ人多イト思フノテ私ニ其ノ話ヲ爲ス様ニト總務處長ヨリノ申付テアリマスカ崇高ナル本事業ノ復雜ナルコトハ昨日ヨリ昨日ニ互リ種々御話カアリマシタ通テアリマスカ故ニ如何ニ面積狭少ノ南洋群島ノ土地調査事業ニ致シマシテモ略同様ノ手段方法ニ依ラネハ事業ノ完成ヲ計リ難キモノテアリマスカラ其ノ全般ニ就キテハ到底御話申コトハ出來ナイモノテアリマスカラ同地ノ土地調査ヲ施行スルニ至ツタ當時ノ事情目的及其ノ効果等ニ就キテ申上様ト思ヒマス

此等ノ事ニ就キテハ臺灣、朝鮮及關東州ト相似タル點カアリマス而シナカラ文明社會ヨリ遠ク離レ且氣候風土甚タシク異ニシタ熱帶圈内ニ在ル土地柄テアリマスレハ其ノ事情目的、効果等幾分異ナリタルモノカアリマスノテ其ノ概要ニ付申上マス
此ニ南洋ト一口ニ言マスト多クノ人ハ表南洋テアリマス「セレベス」

「ジャバ」「ニューギニア」「ヒリツピン」等ノ諸島ヲ想ハレマシテ日本帝國ノ受委セル裏南洋ハ認識薄キヤニ思レマスノテ先南洋群島ノ地誌及其ノ沿革ニ付マシテ其ノ概略ヲ申上マス
小笠原諸島ノ南方赤道以北ノ太平洋中ニ散在スル舊獨逸領ノ「マリヤナ」「カウリン」「マーシャル」ノ三群島ヲ總稱スルモノテアツテ東ハ遙カニ米領ハワイニ對シ西ハ「フィリツピン」諸島及蘭領「セレベス」島ニ隣リ南ハ「ニューギニア」及「ピスマルク」群島ニ面シ北ハ日本帝國ノ南端小笠諸島及硫黃諸島ニ連ツテキル
本群島ハ東經百二十度ヨリ百七十五度ニ至リ北緯零度ヨリ二十二度ニ及其ノ廣袤實ニ東西二千七百哩南北千三百哩ニ達シテ居ルカ何レモ大平洋ノ眞只中ニ散在スル千四百餘ノ島々ヨリナル群島テ概ネ岩礁カラ成ル其ノ面積狭少ニシテ最モ大ナルボラネ島及パラオ島テサヘ僅々三百七十平方料(二四方里)ニ過キス陸地總面積僅カニ二千四百四十九平方料(一三九、三二方里)テアルカラ大體ニ於テ我カ東京若ハ沖繩縣

ノ面積ニ過キナイ

大空中ニ星斗ノ散在スル如ク廣表ナル海洋中ニ散在セル島々ナルニ付島毎ニ沿革ヲ異ニス

「マリアナ」群島ハ一五二一年葡萄牙人ノ航海者「マゼラン」ニヨリ發見サレ次テ西班牙國ノ手ニ歸シ西班牙政府ハ比律賓群島及「グワム」島ト相併セ殖民地トシテ統治シタカ其ノ統治ハ殆ト横暴ヲ極メ其ノ策ヲ誤リ自國ノ統治ニ服セサルノ故ヲ以テ殺戮シ十萬ノ人口ハ千七百十年頃二千人ニ減少シ無人島ノ如ク荒廢シ千八百九十九年獨西協商ニヨリ九百六十萬圓ヲ以テ「カロリン」群島ト共ニ西班牙ハ獨逸ニ賣却シタ

カロリン群島ハ千五百二十七年葡萄牙人「デイエゴタ、ロシヤ」ト西班牙人「サーペドラ」等ニヨリ發見セラレ後西班牙國王カール二世ノタメニカロリン群島ト名稱セラレ同國ノ舊教ニ屬スル宣教師ヲ送り大イニ土人ノ教化ニ努メタルモ殺戮相次キ布教意ノ如クナラス徒ニ領有ノ

空名ヲ擁シタルニ過キナカツタ

「マールシャル」群島モ一千七百年代西班牙人ニ依リ發見セラレタルモ其ノ世ニ紹介セラレタルハ千七百八十八年英人「マールシャル」ニヨリテ廣ク知ラルニ至リタルヲ以テ島ノ名トナリ從ツテ初メハ英國之ヲ領有シタルモ其ノ根據薄弱ニナルニ乘シ千八百七十八年獨逸ハ軍艦ヲ本群島ニ派遣シテ酋長ト歎ヲ交ヘ千八百八十五年各酋長ヲ説得シ遂ニ完全ニ略取シタ次テ千八百八十八年英獨協商ノ結果「ギルバート」諸島ハ英國ニ「ヤルト」及「サウル」ノ二群島ハ獨逸領ト協定セラル

大正三年八月世界大戰爭ト共ニ日本帝國モ對獨宣戰ヲ布告シ同年九月下旬ヨリ十二月迄ニ第一及第二ノ兩南遣支隊ニヨリ「サイパン」島以外ノ島嶼ヲ占領シ「サイパン」島ハ十月奪取艦之ヲ占領スルニ至ツタ之等軍艦ハ特別陸戰隊ト代リ十二月ニハ臨時南洋防備隊條例ノ發布セラレ司令部ヲトラツ島ニ設置シ大正十一年三月末迄軍政ヲ布イタテアツタ

之ヨリ先大正九年對獨平和條約成立シ越ヘテ大正十年四月國際聯盟規約第二十二條ノ規定及C式委任統治條項ニ基キ主タル同盟及聯合國ノ委任ニ依リ南洋群島ハ日本帝國ノ委任シ統治スル事ニ至ツタ茲ニ日本帝國ハ南洋群島ノ施政制度改革ノ必要ヲ認メ大正十一年三月從來ノ臨時南洋防備隊條例ヲ廢止シ軍隊ヲ撤去スルト同時ニ四月南洋廳ヲ設置シ今日ニ及フモノテアル

如斯地誌及沿革ヲ有スル南洋群島ノ土地調査事業ハ獨逸領時代西曆千九百十年頃「サイパン」「ボナペ」ノ兩島ニ實施シタル事蹟モアルカ西曆千九百十二年ノ世界大戰爭勃發シタル爲其ノ完成ヲ見ス中止ノ不得已サル事情トナリ續テ日本帝國モ大正三年世界大戰爭ト共ニ對獨宣戰ヲ布告シ同年九月下旬ヨリ十二月ニ互リ海軍ノ占領シタルコト前述ノ如キ事情ナルニ付土地ニ關スル殘存ノ圖書トシテハ一部ノ土地台帳及地籍圖ニ類スル圖簿アリタルモ之ハ極メテ不完全且又西班牙獨逸官

憲ノ交附セル地券ノ如キモ區々ニシテ全部ヲ知ルコト到底困難ノ事テアツタ

尙サイパン、ボナペノ兩島以外ノ大部分ノ島嶼ニ在リテハ土地ニ關スル文獻ハ皆無ニシテ島ヲ異ニスル毎ニ言語風習ヲ異ニスルト共ニ土地制度モ從ツテ相異ニス此等ノ相異ハ地理的的交通不便ナルト交通機關ニ乏シク獨逸領以前ニハ群島間ノ交通杜絶ノ情態ニアリシコトノ外各島ヲ支配スル酋長カ各島毎ニ異ニスル關係ナリト稱セラレ

各島ノ土地制度ヲ文明社會ヨリ一瞥スルトヤハ未開社會ノ島民生活ハ原始其ノ儘ナルカ故ニ原始法其ノモノノ如ク觀察セラレ共產制ヲ以テ論セラレ財產ハ總テ部落ノ總有ニ屬シ土地ハ所有權ヲ認メス總有權乃至入會權ナリト主張スルモノモアレハ又之ニ反シテ種々公法的權利義務ノ附屬シタ私有制ナリトノ論等アリ意見取り取りニシテ其ノ何レナルヤ判然セス施政及產業上多大ノ不便テアツタ

シカノミナラス本群島ハ前述ノ通地理的不便且面積狹少ナル島ト雖モ

天惠ニ浴シ殊ニ農産又ハ水産業ニ適シ居ル關係上日本帝國ノ統治以來ハ交通開ケ漸時經濟界ニ注目セララルル様ニナリ表南洋ト共ニ南進論トモ謂フヘキ主張カ強調セラレ企業スルモノノ渡南ヲ増加スルニ至ツタ之等企業家ノ事業ヲ計畫スル農産業ハ申ス迄モ無ク水産其ノ他ノ事業ト雖モ土地ト直接間接ニ密接ノ關係ニアラサルモノハ無ク土地ノ利用カ各島ニ急速ニ發達シ土地ノ異動甚シキニ至リ錯雜ヲ極メ殆ト憑據スヘキ圖書無キヲ以テ若奸民アリテ窃ニ境界ヲ冒侵スル事アランカ容易ニ此ノ矯正スルコト困難ニシテ是レ實ニ官民ノ彼是レ不便ヲ感シ憂慮セラレタ

如斯復雜多岐ニ互ル土地ノ制度ヲ明ニシ行政及社會經濟ノ根本ヲ確立スルコトハ南洋群島統治上焦眉ノ急務ナリト認メ大正十年頃既ニ軍政時代提唱セラレ土地調査ノ企畫ヲ爲シタルモ其ノ翌年南洋防備隊條例ノ廢止トナリ南洋廳設置等ノ事情アリテ其ノ實現ヲ見サリシモ越ヘテ翌年ノ大正十二年土地調査ニ關スル臨時職員ノ官制發布アリ臨時事業

トシテ土地ノ根本調査ヲ施行スルニ至ツタ
本群島ノ土地調査ハ民有地ノ介在スル島ヲ要調査島トシ全島官有地ノ島ハ土地調査事業トシテ調査ヲ實施セス他ノ機關ヲ以テ他ノ方法目的ノモトニ調査スルヲ得策トシタノテアル要調査島中地方ノ要望ニ依リ産業發達セルモノヨリ漸時著手ノ企畫ヲ以テ大正十三年度ヨリ向フ五箇年繼續事業トシ其ノ經費豫算ヲ編成シ提出シタルモ政府當局ノ方針ハ官有地調査即チ官民有區分調査ヲ緊急先決事業トセラレ土地調査事業ヲ二期ニ區分スルコトニナツタ
第一期事業ヲ官有地、島民外所有地、會長有地及公有地等ノ特種土地ノ調査ヲ實施スルコトトシ之ヲ主要島ニ施行シタル後第一期事業ノ經過ニ鑑ミ第二期事業ノ民有地調査ヲ計畫スルヲ得策ナリトシ計畫變更スルニ至ツタ

第一期事業ノ官民有區分調査ノ事業内容ノ一部ニ付述レハ此ノ調査ノ完璧ヲ計ルニハ調査區域全土盤ニ互リ民有地内ニ於テモ地押調査ノ必

要ヲ認メ全土盤ニ地押調査ヲ施行シタル爲民有地間ニモ立入り一等地ノ概況ヲ調査シ之ニ對シテ見取圖ヲ調製シタリ斯クシテ第一期事業ハ地方ノ要望ニ依リ土地關係ノ最モ錯雜シタル「サイパン」島ノ調査ヲ始メトシテ漸時事業ニ著手シタルモ事業ノ進行ニ伴ヒ既往ノ成績ト將來ノ進行トニ鑑ミ昭和九年度計畫ノ内容ヲ變更シ年額豫算經營ヲ從前ノ倍額ニ増加シ事業ニ從事シ昭和六年度ニ於テ主要島ノ官民有區分調査即チ第一期事業ヲ完了シタ

從來本群島ニ於テハ土地ノ賣買ハ日本人又ハ外國人間ニ禁シタルモ昭和五年頃之ヲ解禁スルニ至リ日本人間ニモ土地所有ヲ認ムルコトニナリシ爲土地ノ異動ハ一層錯雜ヲ極ムルニ至リタルヲ以テ官有地調査主要島ノ完了スルヤ第二期事業ノ民有地調査ヲ實施スルニ至ツタ

前述ノ土地ノ賣買ヲ外國人間ニ禁シタル理由トシテハ

千九百十九年佛國巴里ニ於テ成立シタル國際聯盟規約ノ規定スル所ニ依リ日本帝國カ南洋群島ヲC式委任統治トシテ受諾シタル人口稀

薄面積狭少文明ノ中心ヨリ遠ク離レタル地方ニ適要セル近代激甚ナル生存競争ノ下ニ未タ自立シ得ナイ人民ノ福祉及發達ヲ圖ル主義ノ下ニ創設セラレタルモノナルカ故テアル

斯様ノ事情アルヲ以テ島民ニ對スル公課トモ稱ス可キモノモ輕減セラレ只獨立生計ヲ營ムニ足ル可キ財産ヲ有スル者ヨリ年額十圓以内ノ人頭稅ヲ徵集スルノミナリ從テ本群島土地調査ノ結果ハ何等地租課稅ノ明確、公平等ノ目的ト爲ササリシコトハ臺灣、朝鮮、關東州ト異ニスルトコロテアル

土地調査事業ノ效果トシテハ關東州、朝鮮、臺灣等ニ於ケルモノト同様各方面ニ效果多カリシコトハ本事業ノ性質上贅言ヲ要セサルモ特ニ顯著ナリシモノノ一例ヲ述記セハ本群島ハ營テ官民有地ノ區分竝ニ土地ノ權利關係カ不明ナリシカ爲產業上土地ノ利用甚ダシク阻害セラレタルモ土地調査ニ依リテ之カ歸屬ノ明確ヲ期シタルニヨリ南洋廳ノ財源ヲナス農產業上裨益スルトコロ多大テアツタ

其レハ面積狹少ナル本群島ト雖モ土地肥沃ニシテ日光ノ直射強ク然モ降雨量相當アルカ故ニ砂糖ノ原料タル甘蔗栽培ニ適シ居ルカ土地ノ官民區分竝ニ所有權等ノ權利關係不明ナリシ爲土地調査當時ノ大正十二年度ニハ其ノ作付面積僅カニ八三五町步此ノ產糖高三五八・六〇〇斤ニ過キナカツタ然ルニ土地調査完了ノ結果耕作面積ハ擴張セラレ昭和六年ニ於テハ作付面積六・〇九三町步此ノ產糖高六四・二七八・九〇〇斤ノ多キニ上リ更ニ昭和六年度以降ハ官民共ニ製糖業ニ意ヲ注クニ至リ官有地ノ無償貸下又ハ民有地ノ利用等銳意斯業ノ獎勵ニ努メタルニ依リ漸時產糖ノ増加ヲ見ルニ至レリ其ノ產糖高及作付面積ノ明確ナル數字ナキモ作付面積一三・〇〇〇町步餘產糖高一億餘萬斤ナリト謂ハレ眞ニ隔世ノ感ナキヲ得ナイ進展振リヲ示シタノテアル

此ノ產糖ヲ日本へ移出スル場合ハ南洋群島出港稅令ニ依リ出港稅ヲ徵集スル事ニナツテ居ル其ノ出港稅額ハ昭和六年度ノ產糖高六四・二七八・九〇〇斤ニ對シ二百四十七萬餘圓トナリ之ヲ同年度ノ南洋廳歲出

總經費四百八十五萬餘圓ニ比較スレハ大半ニ達スル多額ノ歲入ヲ占ム又土地調査當時ノ大正十二年度ノ南洋廳ハ五百二十三萬圓ノ政府補助金ヲ受ケタルカ製糖業ノ發達ニ依リ漸時低下ヲ見昭和六年度ニ入ツテハ二十七萬圓トナリ遂ニ昭和七年度ニ入ツテ全ク國庫ノ補助金ヲ受ケス特別會計ノ獨立ヲ期スル事ニナツタ即チ南洋廳ハ創設十年ニシテ立派ニ自家ノ臺所ヲ自家ノ收入テ切盛リシテ行ケル様ニ經濟的ニ發達シタ

此ノ製糖業ノ發達ハ南洋廳ノ歲入ノ基礎ヲ確立シタルノミナラス臺灣ノ製糖業ト相俟ツテ日本帝國ノ砂糖需要ヲ満足セシムルニ至ツタ如斯產業ノ發達ハ直接原因トハナラサルモ間接的ニ土地制度ノ確立セラレタルニ因ルモノニシテ土地調査事業ハ南洋群島開發ノ基礎ヲナシタ次ニ本群島島民ノ土地調査事業ニ對スル感情ハ未開社會其ノ儘ノ彼等ハ日常生活ニ目撃スルモノ以外ノ事アランカ尾ツケ齟ツケ流言蜚語ヲノ邊クスルカ常ナリ故ニ土地調査事業實施ニ際シテモ彼等ノ日常嘗テ見

開セサル手段方法ヲ以テ間接又ハ直接ニ土地ノ調査測量ヲ爲スヲ以テ西、獨領時代政府ニ從ハサルモノハ虐殺ノ熾暴ヲ極メタル事情アリタルコトヨリ土地測量上ノ施設ヲ迷ヒ種々風説ヲ唱ヘルモノアリ又一步進ンテハ民有地引揚ノ前提トシ危懼ノ念ヲ抱キ或ハ調査測量ノ結果ハ從來ノ如キ土地ノ使用ヲ爲シ難ク且甚タシク煩雜ナルニ至ルカノ如ク誤解セルノ觀アリタルカ故ニ調査區域決定スルヤ之ヲ當該支廳ニ通知シテ諸般ノ便宜及調査上ノ協議ヲ遂ケ支廳長ハ其ノ區域ノ村長、助役等ノ村吏又ハ主ナル村民ヲ召集シ土地調査ノ趣旨及土地所有者ノ履行スヘキ義務等ニ付宣示シ諒解セシメ村吏ハ之ヲ一般村民ニ傳達セシメタ實施ニ當リテ調査班長ハ更ニ總村長、村長、助役及地主其ノ他ノ人民ヲ一定ノ場所ニ召集シ支廳員列席ノ上調査ノ趣旨及土地所有者ノ履行スヘキ義務調査測量ノ順序方法又ハ其ノ結果標杭建設及保存境界見透線ノ伐開等ニ關シテ詳細ナル宣示ヲ爲シ諒解セシメルコトニ努メタ結果土地調査事業ヲ理解シ專業上多大ノ利便ヲ與ヘタ

獨逸領時代同政府ノ施政ニ反抗シ叛亂ヲ起シ終ニ廳長及主腦獨逸官吏ヲ逆殺シタ歴史ヲ有スルボナベ島ノ如キモ土地調査事業ヲ理解シ何等惡感情アルヲ認メサルノミカ調査島ヨリ反ツテ調査官吏ノ來島ヲ待チ土地調査專業上多大ノ便宜ヲ提供シタ村長及助役等ノ村吏ハ常ニ調査官吏地主間ニ介在シ當該官吏ト協力シ土地調査上便利ヲ與ヘ苟モ土地調査專業ニ關スル一切ノ事務ニ障害無カラシメタ斯クシテ地理的不便ト沿革竝ニ土地制度ヲ異ニスル土地調査事業ノ困難モ順調ニ進捗ヲ期シタ其ノ功績ハ實ニ偉大ナモノテアツ